



第 376 号 平成 21 年 11 月 1 日  
発行所 京都市学校医会  
京都市中京区間之町通竹屋町下ル  
楠町 601-1 こどもみらい館 2 階  
TEL (075) 256-0351  
FAX (075) 241-3568  
発行人 長 村 吉 朗

## 京都市立学校における学級閉鎖の状況 2

会 長 長 村 吉 朗

この原稿は、前号に引き続き京都市立学校におけるインフルエンザによる学級閉鎖の状況を勝手な予測をまじえて掲載いたします。なお、この記載は前号に続き10月6日から記載しております。

表1に京都市立学校における学級閉鎖状況を掲載いたします。これはその日に学級閉鎖を決めた学校の数ではなく、その日に閉鎖している学校数と学級数を示します。

次に、表2に京都市立学校のインフルエンザ感染および発熱による欠席者の状況を示します。これは学校に連絡があった、もしくは把握できているインフルエンザ、インフルエンザの疑いおよび発熱による欠席者（発熱の基準は決めておりません）の総数であり、学級閉鎖を行っている分の感染者数は把握できないため、実際はさらに多いものと思われます。

**10月6日記** 月曜日の5日から急に学級閉鎖の数が増えてきました。欠席者数に閉鎖校の児童数がカウントされないため、表2のインフルエンザの報告数と報告校の数はあまり増えておらず、表1との間で乖離がみられます。集計の仕方に問題があるのでしょうか、現状ではこれ以外の集計が困難であろうと考えます。急速に感染拡大が進むものと危惧しますが、何とか10日から12日の3連休に救われたのですが・・・。

**10月7日記** ついに疑い報告数がSW前の471名を超えました。学級閉鎖の数も増えており、疑い報告を出している学校数もSW前より増加しています。爆発的な感染拡大が目前という印象を持ちます。わたくしはこの表1、2の元となる各学校よりの報告

の集計を見てこの文章を書いているのですが、それを集計するために教育委員会では2時間以上の時間をかけて、夜遅くまで作業を行っているようです。政令指定都市でこの様な集計を行っているところはないとのことで、貴重なデータを見ていることとなります。

**10月8日記** 本日は台風18号が未明より近畿地方南部を通過し、京都府にも午前7時の時点で暴風洪水警報が発令されたためほぼ全校が3時限目からの授業となりました。明日金曜日を過ぎると3連休、これにより感染拡大が抑えられてくれればいいと祈っております。わたくしのところのような弱小医院でもインフルエンザの患者が増加してきており、他の医院では診療に支障を来しているのではと危惧しています。それが少しでも軽減されれば・・・。

**10月10日記** このところの感染報告数の伸びは、1日に2割増し以上のペースで増加してきています。危惧している爆発的な感染拡大まで間もなくと感じているのですが・・・はずれてくれー。

**10月14日記** 3連休が過ぎましたが、感染拡大には歯止めがかかりません。感染報告数は過去最高を記録しています。クラスターサーベイランスによる感染者数の集計もここに来て変更され、今後感染実数に近いものはこの集計以外に手に入れることが出来ません。新型インフルエンザのワクチンは輸入により数は十分確保されたようですが、このままでは接種にあたる医療機関がパンクすると思われます。任意接種であり集団接種の実施には時間も制度も間に合いません。爆発的な感染拡大直前です。

**10月16日記** 学級閉鎖の数が151と最大を記録しました。今のところ全ての学校が8月末に出しました「学級閉鎖等の基準」に従って閉鎖を行っています。しかしクラスごとの授業の進行に違いが出るなどの問題がこれから表面化してくるのではと心配しています。それぞれの実情に合わせた、独自の判断が必要ではないでしょうか。教育の面からと医学的な面からの判断が要求されます。学校医がより積極的に学級閉鎖等の判断に介入してほしいと思っています。自分で基準を決めておきながら、勝手なことを思っています。

**10月19日記** 今日からインフルエンザの診療にあたる医療機関には新型インフルエンザのワクチンが配布されるそうです。もっとも京都市ではテレビの取材を受けているところにだけ配布が行われ、一般の医療機関の手元に届くまでにはまだ時間がかかりそうです。そのワクチンもどうやら健康な成人は一回接種になるようで、かなり余りそうですが、さてどうなる事やら。爆発的な感染拡大には今日はなっていないみたいです。

**10月21日記** 今日は弘法さんですが、人出はどうでしょうか。明日は時代祭で、人混みでの感染拡大が懸念されます。本日我が医院にも新型ワクチンがやっと届きました。一人分だけではどう使いましょう。自分だけ打って、自分だけが助かろうと思われるのもいやだし・・・なんて考えています。さて学校における感染者数ですが、このところ前日の1割増し以上の増加です。これからは毎日過去最高を更新していくのではないかという懸念をしています。ただ学級閉鎖数は中学の数が減少したため、学校数の割に多くありません。感染が京都市全体に薄く広がっている事と考えて良いのでしょうか。

**10月23日記** このところ秋晴れが続いています。インフルエンザの発生は報告数は最高を更新しており、学級閉鎖の数も週末に向かい増加しています。これには山科区の学校閉鎖による数が、大きく押し上げる要因となっています。

**10月27日記** これまで土日の休み明けには感染数の増加にやや歯止めがかかるという印象でしたが、ここに来て休み明けからの感染増加が著しく、学級

閉鎖の数も200を超えました。学芸会や運動会、修学旅行、山の家など学校行事が予定されている時期なのに、正常な学校活動が行えない状態であり学校現場の混乱を予想します。感染爆発前夜の感があります。又少しはずれるかも知れませんが給食にも影響が出ています。インフルエンザによる学級閉鎖等の措置が行われますと、京都市の場合は、そのクラスの児童の給食費は返金されます。また、中止に当たって、止めるのを間に合わない食材の費用は行政側の負担となります。27日ですと220クラス、クラスに平均30人と考えても6,600名。これが日々積み重なっていくと大変な負担となり（本日時点で計2,626学級）、同時に発注停止の指示やその集計を日々行っていく学校給食担当も手一杯と言っても良い状況です。影響は想像以上に広がっていきます。

**10月30日記** このところ週の初めに新しい学級閉鎖がどっと出て、4日たった金曜日には少し減ってくるという状態が続いています。週末は飛び石ですが3連休ですが、その感染拡大効果は少ないのではないかと考えます。休み明けが怖い・・・

**11月2日記** 京都市の65歳以上の季節性インフルエンザの接種が開始されましたが、既にワクチンの在庫がほとんど無く全員に接種が困難な状態です。新型インフルエンザのワクチンも各医院には極く僅かしか配布されず、接種対象者をどのように順位付けするか悩ましい状態です。しかし学級閉鎖はかなり少なくほっとしています。しかし休日診療所等の受診状況を聞きましても、感染者数はうなぎ登りと思われるます。

**11月4日記** 2日昼過ぎの雨から急に寒くなり、本格的なインフルエンザの時期が来る頃になりましたが、新型インフルエンザは猛威をふるいつつあります。現時点での死者は42名となり、感染者数は予想通り飛び石連休にも影響されず急速に増加しています。

**11月7日記** 今週の感染者数報告はやや減少気味であり、希望的ではありますが感染増加に少しブレーキがかかってきているのかも知れません。山を越したのであればいいのですが・・・。

表1 京都市立学校における学級閉鎖状況

日	8/24	25	26	27	28	29	30	31	9/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
学校数	1	1	2	2	3	-	-	9	10	11	15	14	-	-	22	19	23	23	13	-	-	20	22	26	26	12	-	-
閉鎖学級数	1	1	2	2	3	-	-	15	21	19	25	21	-	-	34	27	31	31	14	-	-	33	35	44	44	12	-	-

日	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	10/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
曜日	祝	祝	祝	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	祝	火	水	木	金	土	日
学校数	-	-	-	10	11	-	-	7	7	11	11	20	-	-	33	37	40	40	25	-	-	-	33	52	53	44	-	-
閉鎖学級数	-	-	-	15	16	-	-	14	9	19	19	36	-	-	81	88	102	104	60	-	-	-	89	140	148	107	-	-

日	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	11/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	祝	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
学校数	32	55	67	77	73	-	-	80	111	121	120	89	-	-	81	-	82	77	61	-	-	48	75	83	83	61	-	-
閉鎖学級数	54	97	119	150	140	-	-	149	224	235	233	167	-	-	150	-	154	141	97	-	-	84	122	141	142	89	-	-

表2 京都市立学校のインフルエンザ感染および発熱による欠席者の状況

日	8/24	25	26	27	28	29	30	31	9/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
学校数				13	24	-	-	37	31	30	43	53	-	-	61	55	61	56	64	-	-	69	57	54	62	65	-	-
欠席児童数				38	62	-	-	160	125	166	157	219	-	-	378	373	226	293	293	-	-	359	383	381	334	471	-	-

日	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	10/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
曜日	祝	祝	祝	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	祝	火	水	木	金	土	日
学校数	-	-	-	91	80	-	-	70	76	69	76	76	-	-	84	92	104	89	99	-	-	-	117	138	129	142	-	-
欠席児童数	-	-	-	487	382	-	-	246	279	260	294	335	-	-	373	520	665	581	787	-	-	-	1106	891	803	978	-	-

日	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	11/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	祝	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
学校数	158	161	150	177	164	-	-	169	161	180	170	169	-	-	175	-	169	167	177	-	-	183	189	175	181	180	-	-
欠席児童数	1176	1370	1083	1289	1292	-	-	1550	1506	1422	1546	1633	-	-	1889	-	1309	1293	1412	-	-	1427	1478	1434	1291	1375	-	-

10月号の数字とは訂正箇所があります。

## 第38回 京都小学生陸上記録会の一日

於：西京極陸上競技場兼球技場及び補助競技場

福西小校医 奥村正治

土曜日も含めると3連休の最後の日、10月12日祝日体育の日に、雲一つないという秋晴れの少し暑さを感じる晴天にめぐまれ、朝10時より競技が開始されました。毎年6年生の出場という事で行なわれているが、男女とも、100m、800m、50mハードル走のトラック競技と、走幅跳と走高跳のフィールド競技が個人戦である。他に、4人×100mのリレー走がこしばらく続いている。記録によると以前には200m走、ソフトボール投げもあった年もある様であるが、西京極の陸上競技場に大会がおちつくと上記の6種目(男女共)になっている様である。

参加校は171校、エントリー人数は、3,336名となっており、毎年毎年参加者は増加している様に思います。しかし、例年とくらべると観客席の人々は少ない様に感じ、連休の日という事で、親御さんの参列が少なかつたのでしょうか。

本年は、男子4人×100mリレーに新記録が出て

いる。記録は53秒9である。今までの記録は54秒3であり、0秒4縮めた事になる。平均13秒48となる。本年100m走の記録からは、7位までの人達の記録で4人全員が走った事になる。

我が小学校は24名が参加していると教頭先生から伺った。約4割の子ども達が参加した事になるが、学校のグラウンドとはちがった感触を味わったものと思います。いい思い出を作った事と思っています。

最後になりますが、本職の医務の記録を申し述べます。医務室をおとずれた生徒さんは全部で18名であり、圧倒的に多いのが、打撲・擦過傷である。13名。捻挫・筋肉痛等が2名。内科的な疾患が2名。本年も残念であったが、骨折が1名出ました。

予定よりは少しおそくまでかかりましたが、5時すぎに閉会式が終り、私は帰路、次の仕事の休日急病診療所へ6時より入りました。

---

## 中国学校医事情（その6、青少年危機の2）

会長 長村吉朗

さて、5回にわたり引き延ばして参りましたが、とうとう今回の目的である「中国青少年危機処理指導計画」に対し参画と言っておおがましい、拝聴といった方が良いのではないかと今では思っていますが、その話をいたします。

杭州に到着してすぐ浙江省杭州第二中学において、杭州市教育局と杭州市学生心理ホットラインの責任者との懇談を行いました。通訳を介して話をする事など全く初めてなうえに、生来いい加減な私は全く挨拶を考えておらず、本来相手に対する感謝の言葉から始めるべきであった、など話をしながら反省し冷や汗をかきました。ただ、通訳が翻訳している間に考える時間があるというのは良かったのですが、

どこで話を切れればいいのか分からず悩みました。計画の趣旨の文章は読んではいましたが、それより(その2)に述べました学校医の存在などの話を聞くだけでこちらからの情報提供は何も出来ませんでした。向こうは杭州市の学校の規模、生徒数など事細かに説明してくれたのですが、僕はメモやノートも何も持たず会場に行ったため何も報告できません。この文章を向こうの人が見たら、怒ることでしょう。すみません。

2日目は杭州大学城市学院で中国青少年危機処理プロジェクトチームと懇談いたしました。このときはメモを用意していき、挨拶も考えていったのですが、向こうの計画の規模とその目的に圧倒され話を

聞くだけでほとんどアドバイスを述べることは出来ませんでした。奥村副会長他メンバーがみんなでフォローをしていただき、何とか懇談を終わることが出来ました。その内容については後で少し触れます。

さて、ここで「その3、学校事情」の中で使いました1-2-4-8の意味について答えを書きます。中国では30年前より一人っ子政策が実施されました。当初1人の子どもに2人の親、そして4人の祖父母という意味で1-2-4が使われていたのですが、30年が経過しその一人っ子が子どもを1人作る時代となってきました。これを称して、1-2-4-8と呼んでいます。4人の祖父母や曾祖父母がたった1人の子どもを甘やかすことによりわがままな子どもが出来上がっていく問題を称してこのように中国では呼んでいます。別の呼び方では「イチゴ族」と言うものもあり、見た目は美しいがひ弱ですぐ駄目になると言う意味で使われております。このことが今子どもたちの最大の問題と中国では認識されています。同時に社会が発展してくるとともに子どもたちの考え方も保守的になり、学校医事情の中でも述べましたが、今子どもたちのもっともなりたいたいの1番は公務員、2番は医者と安定志向が強くなっています。しかしこれから外れて、さらに就職が希望通りに行

かないときにそれを乗り越えられない子供が増えてきているのです。同じことは日本にもあると思いますが、日本での対策を教えてほしいとの意向があるようでしたが、残念ながら日本でそのような対策を国レベルでとろうという動きはないのではないのでしょうか。答えに窮しました。「私の仕事館」などと言う天下りのための施設は作れるのに……。民間のキッザニアの方がその目的に合っているのではと思いましたが、中国は既にその施設は知っているようです。

また、台風や地震などのような自然災害に対する対応も、これに対する教育プログラムを作成し、それを経験できる施設を作りたいと言っていました。今後の計画の中では2、3年後にはそのような施設が出来ているのではないのでしょうか。東方中学に植えた桜が花を一杯つけるようになるまでに、今の中国ではそのような施設を作り上げているでしょう。日本の役所は何をしているのだ、との思いを強くいたしました。

心理ホットラインの設置やその積極的な試みに圧倒され、僕たちももっと何かをしないといけないとの思いに駆られた体験でした。本題は以上で終わりますが、話は次回で終了です。

## 京都府医師会指定学校医制度 単位取得講演会のお知らせ

### 平成21年度 京都市結核指定医療機関等研修

と き：11月26日（木）午後2時～4時半

ところ：京都府医師会館 2階大ホール

講演：報告「結核医療基準改正について」 伏見保健所長 谷口 隆司氏

講演「結核の免疫学的診断 -原理とその課題-」

(財)結核予防会結核研究所抗酸菌レファレンス部長 原田 登之氏

### 伏見医師会公開講座 新型インフルエンザ対策 ～知っておきたい本当の話～

と き：11月28日（土）午後2時～4時

ところ：京都市呉竹文化センター（伏見区京町南7丁目35番地の1 TEL 603-2463）

## 平成21年度 京都府耳鼻咽喉科学校医会研修会、京都府耳鼻咽喉科専門医会秋期研修会

と き：11月29日（日）午後2時

ところ：京都ホテルオークラ4階「暁雲の間」（中京区河原町御池 TEL 211-5111）

学術報告

平成20年度京都府耳鼻咽喉科学校医会総会

平成21年度京都府耳鼻咽喉科学校医会研修会、平成21年度京都府耳鼻咽喉科専門医会秋期研修会報告（2時25分～）

教育講演（2時55分～）

「当院における急性咽頭蓋炎症例の治療方針」

京都府立医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室 助教 廣田 隆一 氏

「小児のインフルエンザ -肺炎と異常行動・脳症-」

京都市立病院小児科 部長 川勝 秀一 氏

特別講演（3時45分～4時45分）

「内耳瘻孔の病態と治癒」

九州大学大学院医学研究院耳鼻咽喉科学 教授 小宗 静男 氏

会 費：2000円（懇親会費含む）

## 第6回 常任理事会

平成21年11月7日

於 事務局

出席者 長村会長、奥村・平位副会長、林専務理事、  
蘆原・杉本各常任理事、佐野眼科学校医会  
副会長、星谷・鈴木各耳鼻咽喉科専門医会  
理事

### ・会長挨拶

### <報告事項>

1. 京都市学校保健会健康教育シンポジウム  
10/6 “薬物乱用”の講演会
2. 精神衛生研究会 10/8 10名参加
3. 京都市小学生陸上競技記録会  
10/12 今月号参照
4. 腎臓相談 10/13 2名
5. 色覚相談 10/13 市内2名
6. 第73回全国学校歯科保健研究大会  
10/29 長村出席
7. 第61回教育功労者表彰式典 11/15
8. その他

### <協議事項>

1. 平成21年度京都市学校保健会研究発表会・表彰  
式について 長村、奥村、平位、鈴木出席
2. 平成21年度勇退者後任について
3. 新型インフルエンザについて
4. 保健調査票について
5. その他  
インフルエンザ対策啓発パンフレットの配布に  
ついて

### <関連学会・各種協議>

1. 左京支部会 11/8 長村出席
2. 第59回全国学校保健研究大会 11/11
3. 精神衛生研究会 11/12
4. 第40回全国学校保健・学校医大会 11/14
5. 色覚相談 11/24
6. ワンポイント相談 11/26
7. 京都市学校保健会研究発表会・表彰式 11/28
8. 京都市学校保健会表彰祝賀会・懇親式 11/28
9. 第58回近畿医師会連合学校医研究協議会総会  
11/29 奥村発表 於：大阪府医師会館
10. 第7回常任理事会 12/12 2:00pm～